

事業名	1304	青山処理区計画費	会計	11	公共下水道事業特別会計
基本施策	22	全市的に生活排水処理施設を整備する	款	01	事業費
担当部課名	青山支所産業建設課		項	02	建設改良費
作成者氏名	山内 敏	連絡先	目	01	建設改良費
			細目	101	計画費
			細々目	03	青山処理区計画費

事業の計画・内容

整備目的	阿保、弥生、別府、桐ヶ丘、青山羽根、川上、桜苑地区を処理区域として、公共下水道を整備し、生活排水の浄化を行う。	整備内容	1 整備面積等	計画区域: 250ha
			2 規模・構造	計画処理人口: 11,490人 計画汚水量: 6,000m ³ /日
			3 総事業費(千円)	13,346,928千円

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
投入人員	正規職員 (人)	0.5	0.5	1
	人件費合計(A)	3,600	3,600	7,200
支出内訳(千円)	事業費(B)	15,657	9,401	20,000
	委託料	15,498	8,326	19,000
	その他	159	1,075	1,000
	合計(A+B)	19,257	13,001	27,200
財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金	5,200	1,703	
	地方債		1,500	
	受益者負担 その他特財			
	一般財源	14,057	9,798	27,200
上記 ~ に関する特記事項				

根拠法令・要綱等
都市・地域整備局所管国庫補助金交付申請等要領
関連事業

事業年度
開始年度 平成 14 年度 終了年度 平成 36 年度

進捗状況

区分	年度				
	H17	H18	H19	H20	H21
設計					
工事					
進捗率	0	0	0	11	28

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	目標
整備率	処理区域計画人口に対する整備済人口の比率で、整備率を算出。	平成 36 年度 事業完了

事業開始時からの状況変化等

現在は、都市計画決定に向けて、処理場位置の調整を行っているが、候補地地区からの事実上の異議が出され、調整中である。この計画は、旧青山町時代に経済効率と客観的な資料に基づいて策定したもので、区域内住民のコンセンサスが必ずしも得られていない。今後は、処理区域内で意向調査等を実施し、早期の着手に向けて事業の必要性、計画の妥当性等で市民の理解が得られるよう取り組む。

評価	必要性	4	桐ヶ丘団地の処理場の老朽化、阿保市街地地域の浄化槽普及状況等勘案すると、緊急に整備を要するが、処理場の立地位置については、迷惑施設であり、合意形成が重要かつ不可欠である。そのためにも、区域全体の理解と賛同を早急に得るべく努める。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	2		
	効率性	4		